

調 査 の 要 領

1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種類別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種類別漁獲金額

2 調査時期

毎 月

3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

結果の概要

1 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

令和5年の青森県の漁獲数量は116,647トン、漁獲金額は371億3,370万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量では15,290トン(11.6%)減少、漁獲金額では21億5,108万円(5.5%)減少した。

(2) 主な減少要因

漁獲数量が前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい」、「するめいか」の漁獲数量が減少したことによるものと考えられる。

漁獲金額が前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい」、「するめいか」等の漁獲金額が減少したことによるものと考えられる。

(3) 過去5年間の平均との比較

過去5年間の平均と比較すると、漁獲数量では53,706トン(31.5%)減少し、漁獲金額では15億6,397万円(4.0%)減少した。

漁獲が好調であった魚種は「たら」(漁獲数量対平年比139.2%)、「すけとうたら」(138.2%)、「にじます」(105.6%)等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「ほたてがい」(67.2%)、「さば」(25.2%)、「するめいか」(49.9%)等であった。

(4) 過去10年間の平均との比較

過去10年間の平均と比較すると、漁獲数量では79,574トン(40.6%)減少し、漁獲金額では88億3,973万円(19.2%)減少した(表、図1)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁 獲 数 量		漁 獲 金 額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成25年	185,855		44,660	
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,653	△ 0.2	63,530	20.0
平成29年	206,250	△ 17.4	57,104	△ 10.1
平成30年	216,718	5.1	45,546	△ 20.2
平成31年	191,322	△ 11.7	41,723	△ 8.4
令和2年	167,188	△ 12.6	34,183	△ 18.1
令和3年	144,610	△ 13.5	32,751	△ 4.2
令和4年	131,937	△ 8.8	39,285	19.9
令和5年	116,647	△ 11.6	37,134	△ 5.5
平成25年～令和4年 までの平均 (A)	196,221		45,973	
令和5年／(A)%	59.4 %		80.8 %	

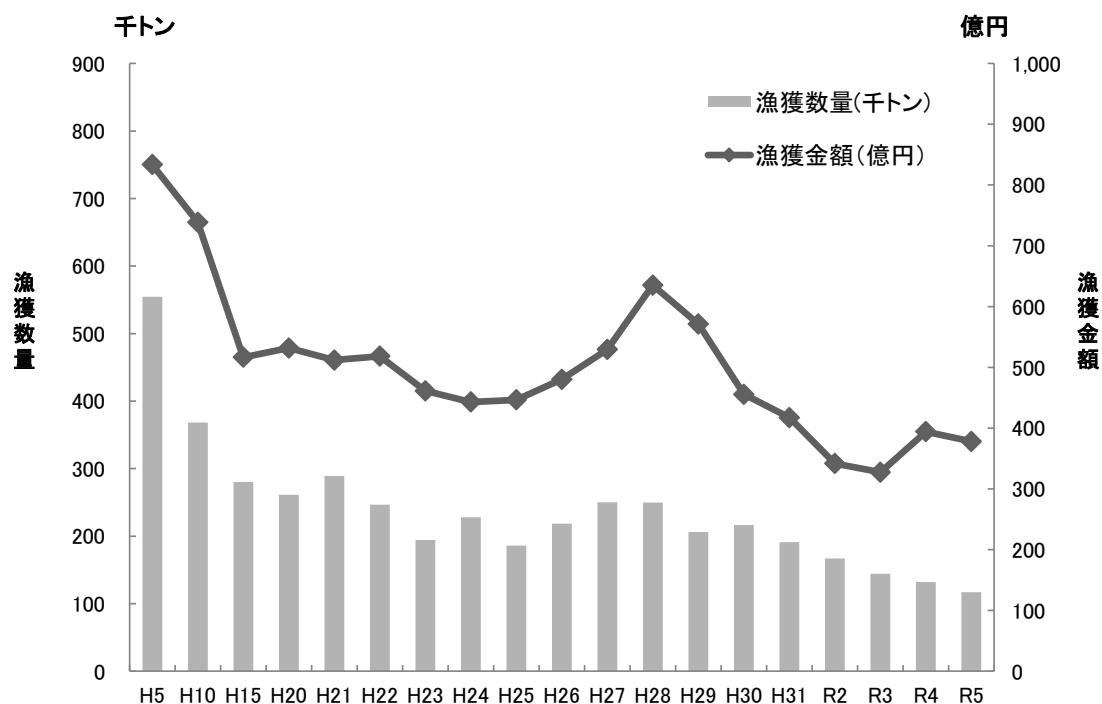


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

令和5年の漁獲数量を月別にみると、6月が27,968トンで最も多く全体の24.0%を占め、次いで5月の20,932トン(17.9%)、7月の17,786トン(15.2%)となっている(図2、第3表)。

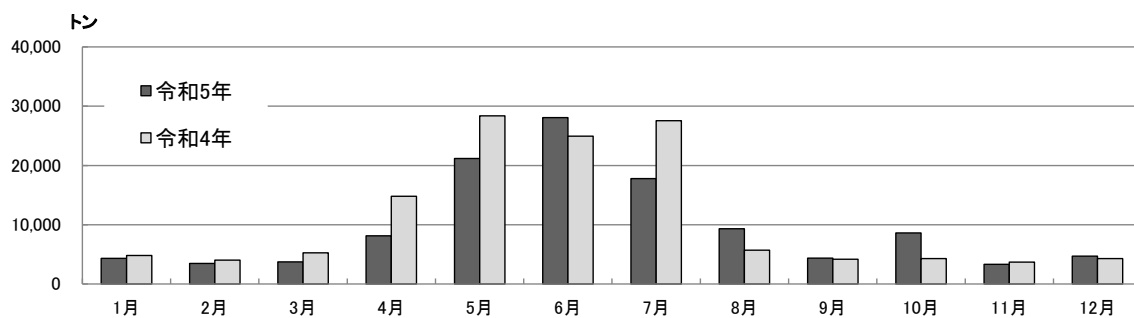


図2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

令和5年の漁獲金額を月別にみると、6月が63億6,575万円で最も多く全体の17.1%を占め、次いで5月の50億9,434万円(13.7%)、8月の41億7,933万円(11.3%)となっている(図3、第4表)。

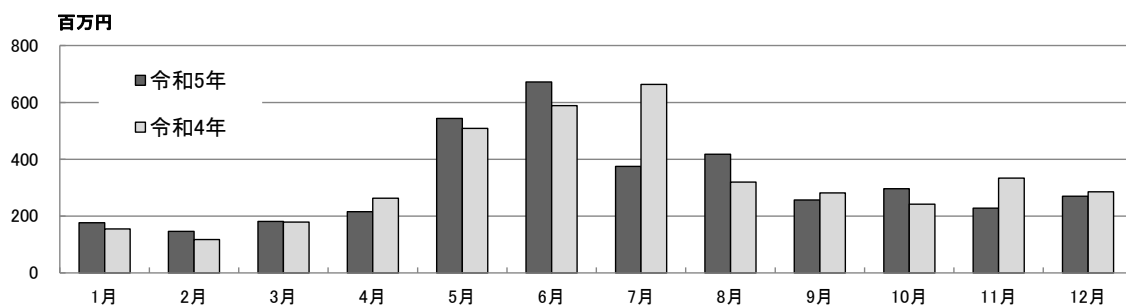


図3 月別漁獲金額

3 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が 57,155 トンで最も多く全体の 49.0%を占め、次いでまいわし等の「魚類」46,857 トン（40.2%）、「その他の水産動物」10,475 トン（9.0%）、「藻類」2,160 トン（1.9%）の順となっている。

前年と比較すると、「貝類」は 21,584 トン（27.4%）減少、「魚類」は 7,870 トン（20.2%）増加、「その他の水産動物」は 2,063 トン（16.5%）減少、「藻類」は 487 トン（29.1%）増加した（図 4、第 5 表）。

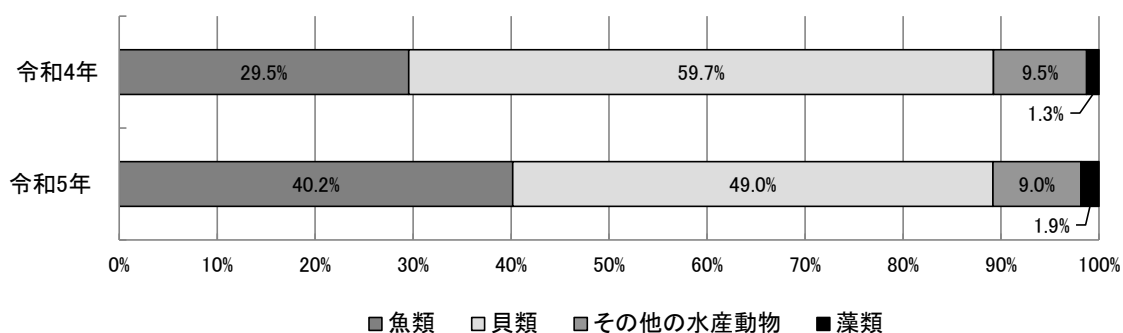


図 4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「貝類」が 137 億 9,888 万円で最も多く全体の 37.2%を占め、次いで「魚類」111 億 4,288 万円（30.0%）、「その他の水産動物」115 億 2,048 万円（31.0%）、「藻類」6 億 7,146 万円（1.8%）の順となっている。

前年と比較すると、「貝類」は 22 億 914 万円（13.8%）減少、「魚類」は 14 億 1,256 万円（14.5%）増加、「その他の水産動物」は 14 億 5,560 万円（11.2%）減少し、「藻類」は 1 億 110 万円（17.7%）増加した（図 5、第 6 表）。

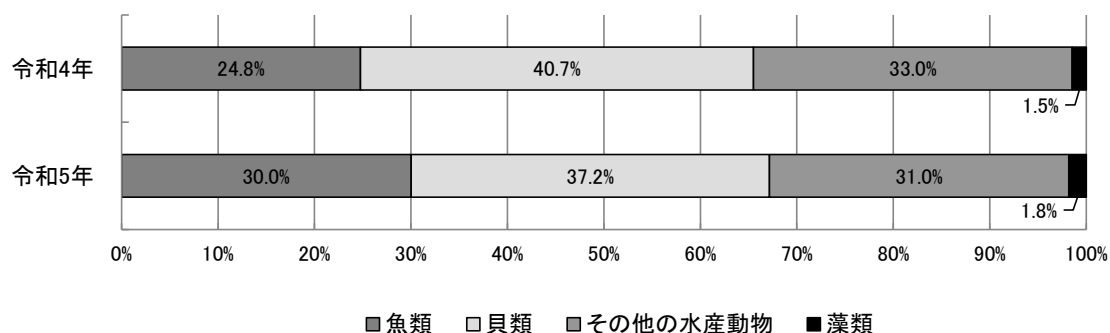


図 5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」56,545 トン（構成比 48.5%）、「いわし類」22,080 トン（18.9%）、「たら」5,367 トン（4.6%）、「さば」4,892 トン（4.2%）、「するめいか」4,732 トン（4.1%）、「すけとうたら」3,154 トン（2.7%）などとなっている。

前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「まいわし」8,443 トン（対前年増加率 62.0%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は、「ほたてがい」21,600 トン（対前年減少率 27.6%）、「するめいか」1,847 トン（28.1%）などとなっている（図 6、第 1 表、第 7 表）。

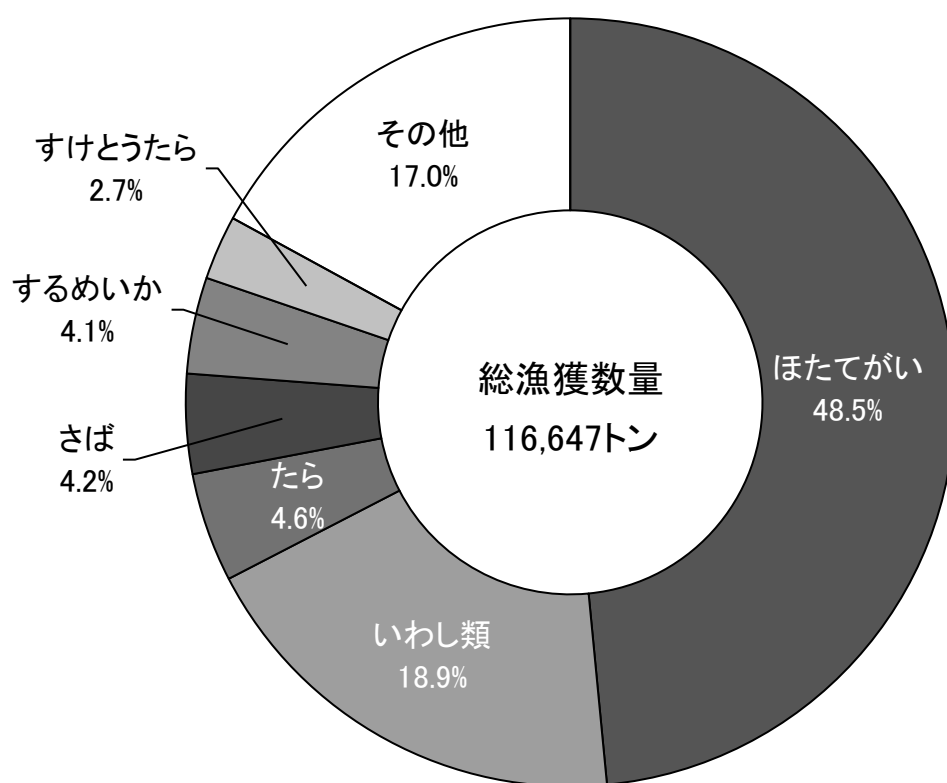


図 6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」134 億 310 万円（構成比 36.1%）、「するめいか」47 億 1,145 万円（12.7%）、「まぐろ」25 億 3,674 万円（6.8%）、「あかいか」23 億 419 万円（6.2%）、「なまこ」18 億 9,981 万円（5.1%）、「にじます」12 億 9,817 万円（3.5%）などとなっている。

前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「まいわし」8 億 935 万円（対前年増加率 157.5%）、「たら」1 億 6,287 万円（18.3%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「ほたてがい」22 億 2,674 万円（対前年減少率 14.2%）、「するめいか」8 億 9,694 万円（16.0%）などとなっている（図 7、第 1 表、第 8 表）。

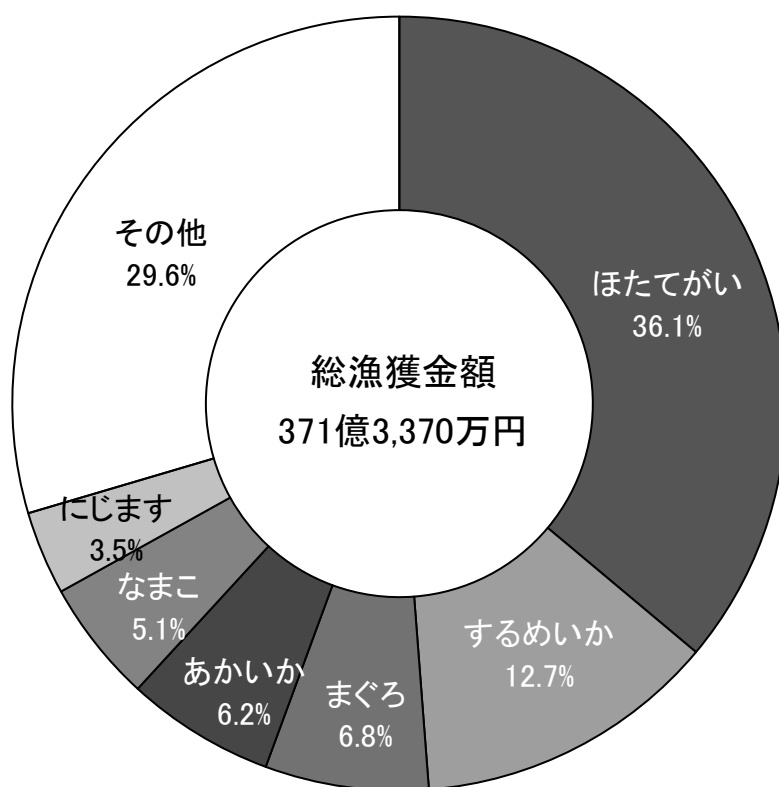


図 7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が 57,637 トン（構成比 49.4%）で最も多く、次いで「まき網漁業」22,581 トン（19.4%）、「沖合底曳網漁業」8,261 トン（7.1%）となっている。

前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「まき網漁業」9,795 トン（対前年増加率 76.6%）、「採藻漁業」1,005 トン（89.9%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「養殖業」21,924 トン（対前年減少率 27.6%）、「いか釣漁業」2,421 トン（35.1%）などとなっている（第9表）。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が 141 億 947 万円（構成比 38.0%）で最も多く、次いで「いか釣漁業」43 億 3,640 万円（11.7%）、「沖合底曳網漁業」36 億 6,907 万円（9.9%）となっている。

前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「延縄漁業」11 億 3,018 万円（対前年増加率 259.1%）、「まき網漁業」8 億 4,528 万円（110.3%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「養殖業」22 億 8,021 万円（対前年減少率 13.9%）、「いか釣漁業」13 億 6,428 万円（23.9%）となっている（第10表）。

5 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が 37,261 トンで最も多く全体の 31.9%を占め、次いで平内町 26.4%、外ヶ浜町 9.1%、むつ市 6.6%、青森市 5.1%の順となっている。

前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、八戸市 8,541 トン（対前年増加率 29.7%）、野辺地町 419 トン（21.3%）、ほか 4 市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、青森市 9,299 トン（対前年減少率 61.1%）、平内町 8,017 トン（20.7%）、蓬田村 2,306 トン（45.9%）ほか 13 市町村となっている（図 8、第 11 表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 99 億 4,444 万円で最も多く全体の 26.8%を占め、次いで平内町 21.7%、むつ市 7.8%、外ヶ浜町 6.9%、深浦町 5.7%の順となっている。

前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、八戸市 8 億 213 万円（対前年増加率 8.8%）、野辺地町 5,972 万円（8.2%）、風間浦村 5,206 万円ほか 8 市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、青森市 13 億 2,722 万円（対前年減少率 46.0%）、平内町 6 億 2,407 万円、横浜町 3 億 445 万円ほか 8 市町村となっている（図 9、第 12 表）。

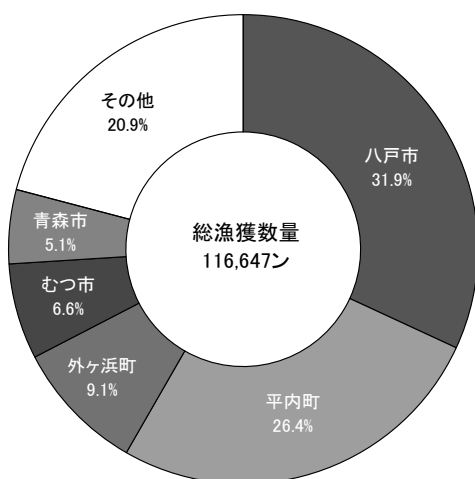


図 8 市町村別漁獲数量の構成比

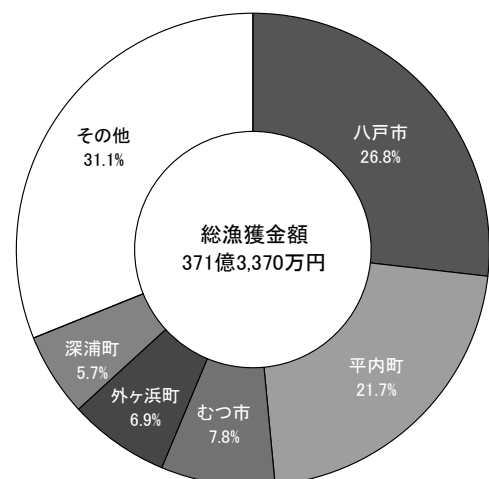


図 9 市町村別漁獲金額の構成比